

コード No. 10047

**Anti-Human
Amyloid β (35-40) (1A10) Mouse IgG MoAb**容量 : 50 μ g

-
- はじめに : アルツハイマー病は 1907 年ドイツの神経病理学者 A. Alzheimer によって最初に報告され、現在では老人性認知症の最も大きな原因となっています。アルツハイマー病の脳に多く現れる老人斑はアミロイドベータ(A β)タンパク質によって構成されています。A β は 40~43 アミノ酸からなるペプチドで、 β -および γ -セクレターゼの働きにより、前駆体タンパク質 APP (695, 751 または 770 アミノ酸からなる膜タンパク質)から切り出されると言われています。
- 免疫抗原 : Human Amyloid β (35-40)の部分合成ペプチド (MVGGVV)
- 起源 : マウス \times マウス ハイブリドーマ (培養上清)
(X63 - Ag 8.653 \times BALB/c マウス脾臓細胞)
- クローン名 : 1A10 サブクラス : IgG₁
- 精製方法 : 抗原特異精製
- 包装形態 : 1 % BSA, 0.05 % NaN₃ 含有 PBS 1.0 mL に溶解したものを凍結乾燥
- 再生方法 : 精製水 1.0 mL 添加 (この時濃度は 50 μ g/mL となります)
- 保存方法及び安定性 : 2~8 $^{\circ}$ C 保存 5 年間安定
溶解後 -20 $^{\circ}$ C 保存 2 年間安定
- 使用目的及び使用方法 : 免疫組織染色 1 - 2 μ g/mL にて使用可能
ホルマリン固定、パラフィン包埋切片の場合ギ酸処理*によって染色性が著しく向上します。
*ギ酸処理方法: 脱パラフィン後ギ酸に 5 分間浸漬した後、流水洗浄
- : ウェスタンブロッティング 1 - 2 μ g/mL にて使用可能
- 特異性 : Human Amyloid β (1-40) 特異的。
同量のヒト Amyloid β (1-42)および(1-43)は、ウェスタン・ブロッティングでは検出されません。
- 交差性 : Mouse, Rat の Amyloid β (1-40) と交差します。

商業製品の原料としてお求めの場合、当社の許可が必要となります。

株式会社 免疫生物研究所

〒375-0005 群馬県藤岡市中 1091-1

電話: 0274-50-8666 FAX: 0274-23-6055

URL: <https://www.ibl-japan.co.jp> E-mail: do-ibl@ibl-japan.co.jp

021202/NK

190214/MS